

住民自治協議会だより

第35号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyou@ngn.janis.or.jp

消防小田切分団全国大会で敢闘賞 小型ポンプ操法



第29回全国消防操法大会は、10月29日に千葉県消防学校で開催され、小田切分団は長野市消防団として初の全国大会出場を果たし、敢闘賞を受賞しました。

この消防学校は平成31年にこの地に移転新築され、敷地面積が6万㎡を超える広大な会場で、ポンプ車と小型ポンプの操法大会が行われました。小型ポンプの部には全国24チームが出場し、全国レベルのスピードと技が次々に披露されていきました。

順位審査は、チーム全体の規律や節度、士気などを総合的にみる総合審査、選手毎に行動の正確さを個別にみる行動審査、「操作はじめ」の号令から火点を倒すまでのタイムの計時審査の3つの合計得点で決まります。



小田切分団は17番目に登場し、県代表として分団一丸となって訓練の成果を出し切った操法を全国に披露し敢闘賞を受賞。小田切の歴史に残る偉業を成し遂げました。

大会に先立ち阿部守一県知事と荻原健司市長を表敬訪問し、全国大会出場の報告を行い激励され大会に臨みました。また、小田切住自協では、全国大会での活躍を祈念し地区のみなさんから激励金を募り、24万円を曾根原正昭分団長に贈りました。



知事訪問



市長訪問



激励金贈呈

令和4年度「小田切地区ながの未来トーク」4年ぶりの開催

11月10日（木）改善センターで、市から荻原健司市長、関係部門から5名が出席しました。地区内の参加者は26名でした。

<提案議題1>

「土砂災害対策（防止措置と情報収集）と復旧の公的支援について」

近年の局所的豪雨情報として雨量計増設など災害関連情報の拡充を望む。また地区内の崩落防止対策の現状と今後の方針及び災害復旧の費用負担の公的支援のあり方について伺う。

<回答要旨>

雨量計は市設備が富士の塔にあり、県設置（長野建設事務所）は川後の保育園跡地にある。雨量計だけで災害リスクの把握はできないので、気象庁のキキクルなど様々な防災気象情報で確認して欲しい。崩落防止対策は現調等で必要な対策は進めている。費用は農地復旧が10%負担、市道、河川等の災害復旧の個人負担はない。個人敷地は原則個人負担だが、一定の条件を満たせば補助金もある。

<提案議題2>

「富士の塔の砦跡修復と山頂への歩道修復について」

防災無線工事で破損した砦跡は地元の記憶が定かなうちの復旧と、展望台に通じる遊歩道階段が削られ、路面状態が悪く修復をお願いしたい。

<回答要旨>

砦跡は土のうで応急保護処置をしたが完全復元は難しい。土塁などの復旧はどのようにするか、地元を含め現地で確認したい。遊歩道の修復は、早い時期に歩きにくい部分を改修したい。また北分校玄関の移築東屋は、来年度には改修工事を進めるので、できれば併せて遊歩道も一緒に進めたい。



<自由討議1>

「国見のイチイの樹勢について」

上部に枯れが目立っており、樹木医診断等で樹勢回復をお願いしたい。

<回答要旨>

樹木医の写真診断では樹木全体がカイガラムシ被害によるスス病で、薬剤散布が必要である。今後、樹木医巡回診断があるので相談したい。措置は地元が実施するもので、市から経費を補助する。

<自由討議2>

情報格差の中で紙媒体の広報ながのは今後も継続を望む。市としても配布希望が多くあり現状でいきたいと思うが、今後いろいろな情勢を踏まえ検討していく段階にもきている。

<自由討議3>

マイナンバーカードの市の考えは、周知を図って取得を推進していきたい。

三輪地区

地域間交流

芹田地区

三輪ひまわり広場が、10月23日に行われ、小田切住自協はリンゴやキャベツ、白菜などの野菜を販売しました。また、11月6日には3年ぶりにスマイルボーリング大会が三輪小体育館で行われ、小田切から2チーム13名が参加し、試合後には懇談会も行われました。



昨年に続く芹田地区との交流会は11月27日、芹田総合市民センターで行われた福祉バザー会場で、小田切住自協は野菜の販売に参加しました。リンゴやキャベツ、数種の大根などを中心に駐車場で多くのお客さんに喜んでいただきました。



令和4年度 小田切地区総合自主防災訓練 新型コロナ拡大中で規模縮小

小田切地区総合自主防災訓練は11月13日（日）、約70名が参加して交流センター体育館で行いました。体育館に災害対策本部を立ち上げ、各区の防災会長に避難指示を連絡、各防災会は要支援者宅の確認とその支援体制を確かめてから、避難経路を判断し想定避難所へ避難しました。一部でしたが無線による招集も確認できました。予定していた分署によるAED取扱い訓練、応急手当訓練、煙体験は新型コロナ拡大中につき中止しました。



秋の長沼水害復興支援プロジェクト

今年は白菜も加わる

秋の長沼支援は、前年の野沢菜、大根に今年は白菜を加えました。8月31日に長沼地区のみなさんと白菜の定植や大根の播種を行い、11月4日には長沼住自協で白菜を贈呈しました。以後順次小野平の現地を訪れて収穫しました。



秋の健康ウォーキング 「小田切八景巡り」

保健指導員会は交流センター共催で、雲ひとつない秋晴れの10月26日「小田切八景巡り健康ウォーキング」を開催。15名が参加し巡礼桜から七ツ石、吉窪城址、西明寺と歩き、あとはバスで巡り、三福寺と浄蓮寺では寺の歴史や名人作の彫刻などの説明に感動しました。



吉窪城址

血糖値を下げる運動講座

保健指導員会と老人クラブは10月31日、体育館で「血糖値を下げる運動講座」を開き15名が参加しました。血糖と運動の講話があり、今年の実技はインターバル速歩でなく、椅子に座った姿勢やつかまり立ちでストレッチを中心に無理なく筋力をつける運動講座でした。



男の料理教室 簡単レシピ3種

福祉委員会と老人クラブは、10月12日に改善センターで10名が参加して男の料理教室を開きました。講師は地元の名人にお願いし、「ごぼうの炒め煮」「小松菜の煮びたし」「小あじの南蛮漬け」に挑戦しました。いずれも身近な食材でおつまみの一品でもあり、上々のでき映えに皆さん満足で持ち帰りました。



小田切地区民生委員児童委員の改選

氏名	担当
会長 西山美佐男（小野平）	上山・下山・千木区
副会長 松本 良一（下小鍋）	国見・中組区（新任）
会計 竹内 勝（西裾花台）	主任児童委員（新任）
監事 難波 秀敏（新 橋）	深沢・吉窪区（新任）
委員 宮澤 睦雄（ 榎 ）	下宮・上宮区（新任）
〃 酒井 幸枝（小 淵）	主任児童委員
〃 池田小百合（西裾花台）	地蔵平・裾花区（新任）

任期は令和4年12月1日から7年11月30日

長野市農業委員会 委員改選

農地利用最適化推進委員

池田 茂（西裾花台）

農業委員会の委員改選に伴い、小田切地区からは農地利用最適化推進委員を推薦することになり、住自協は8月22日に推薦会議を開き選出しました。農業委員は小田切と芋井から交互に選出されており、今回は芋井からとなります。小田切地区の長野第一区域には農業委員3名、農地利用最適化推進委員6名がおります。

任期は令和5年3月2日から8年3月1日

小田切地区豪雨災害 法面崩落



舟久保地籍



平石地籍（水道管破断）

9/3

保健補導員会・福祉委員会 合同介護研修会

9/12



山里整備隊 校庭にマレットゴルフ練習ホール整備

11/2



ふきのとうの会 「ドライフラワーアレンジメント」

11/16



地域ネットワーク会議 地域包括支援センター安茂里

12/14



講演「こころの病気が心配される方との関わり方について」

やまびこ

続くコロナ波、第8波は11月に来た。長野県はコロナ抗体保有率が9%で全国最低だという。サッカーワールドカップカタール大会、日本は決勝リーグPK敗退でベスト8ならずも9強といえる活躍。会場でマスク姿は見られず感染対策はどうなんだろうか。カタールはペルシャ湾に上向きに突き出たハチの巣をひっくり返したような感じで、首都はドーハ、面積は長野県より小さいが石油資源でとにかくお大尽らしい。次は夏季五輪だとか。